



坂村真民記念館（砥部町）

●下手でも堂々と行ないましょう
「職場の教養」より

新しいことを始めたばかりの頃は、人目が気になり、周囲の意見に一喜一憂してしまことがあるでしょう。しかし、意識過剰にならず、その場その場を楽しみながら、何事も行ないたいものです。

「未熟な時から、人の中に交じり、けなされたり笑われたりしても、恥じずに、素知らぬ顔で続ける人が、我流に陥ることなく、上達し名声を得るのだ」

「下手なうちは、人に知られないようにこつそり練習して、上手になつてから人前で披露したら、奥ゆかしいと世間では言われる。これではものにならない」

「下手なうちは、人に知られないようにこつそり練習して、上手になつてから人前で披露したら、奥ゆかしいと世間では言われる。これではものにならない」

新らしい物事への挑戦には勇気がいります。
また、上達するまでに時間がかかると、途中で投げ出してしまいたくなることもあります。

鎌倉後期に、歌人であり隨筆家の吉田兼好が書いた『徒然草』には、芸能を習得する秘訣について、次のようなことが記されています。およそ七百年前に書かれたものですが、現代にも通じるものがあります。

春を迎えて、新しいことにチャレンジしようという人も多いでしょう。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人: 中村剛志

上達の秘訣

明朗・愛和・喜動



花筏ゆらゆら流す川土手に
菜花あふれて白き石鎻

宇和ちゃんの啖呵!!短歌

秋田 緑の言の葉カード



★「言の葉ネットショップ」から購入できます。

<http://greenti.shop-pro.jp>



うたかたの恋にはあらず五十年
茨の道を共に歩みき

人の世の騒然たるを他にみて
四季は静かに時を刻めり

保親さんの人生万感



○できない理由を探さない
事情にとらわれたり失敗を恐れたりすると、意欲はわいてきません。
できると信じて取り組みましょう。